



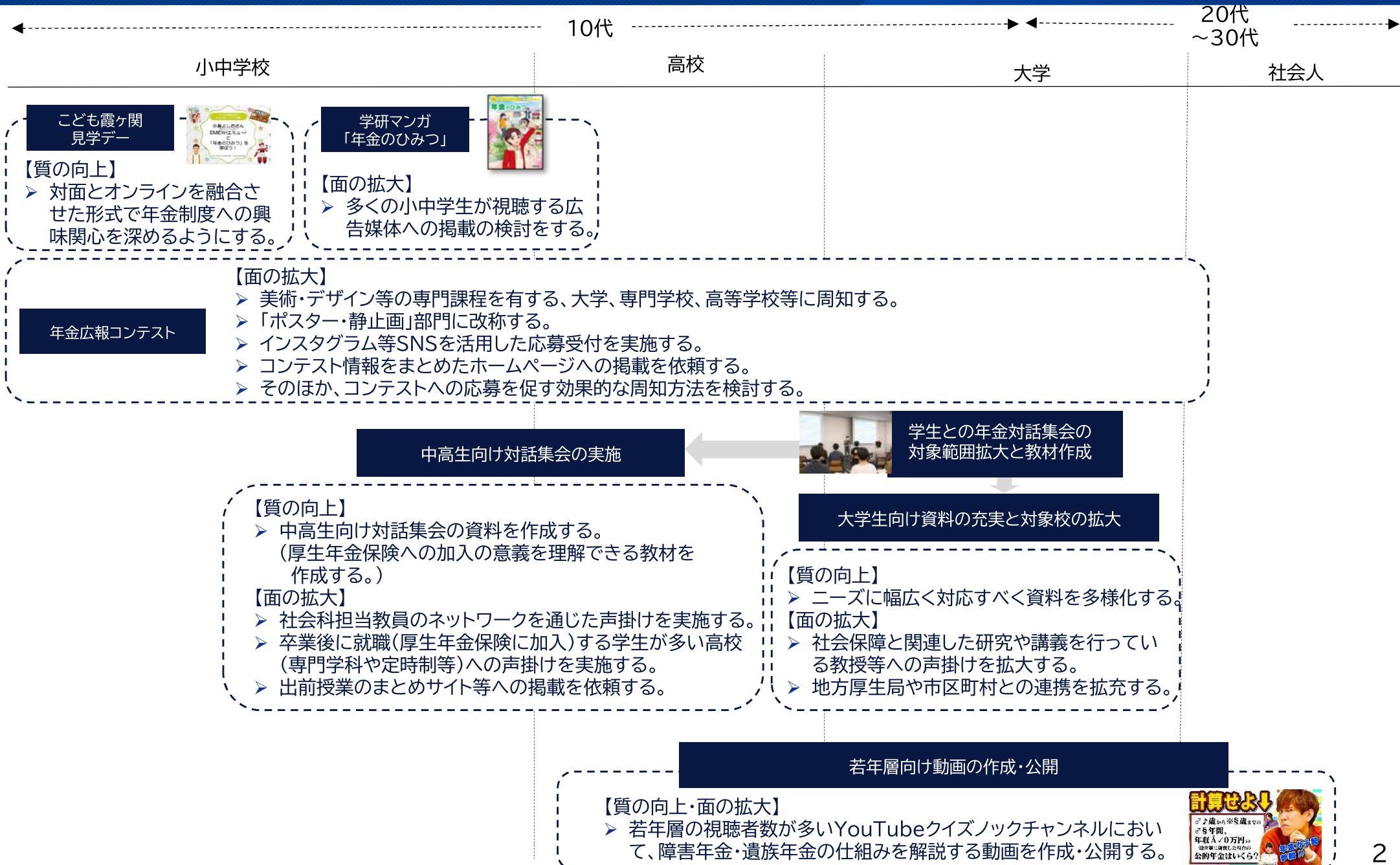
ひと、くらし、みらいのために
Ministry of Health, Labour and Welfare

若年層を対象とした年金広報の取組について

厚生労働省年金局総務課年金広報企画室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

令和5年度の年金広報の取組（若年層を対象とした広報）



「学生との年金対話集会」令和5年度上半期の実績について

■ 趣旨

学生と厚生労働省（年金局）職員が年金をテーマに語り合うことを通じて、学生が年金について考えるきっかけにするとともに、学生からの意見や指摘を今後の年金行政に活かす。

■ 概要

- ・全国各地の大学などで開催（対面／オンライン開催）
- ・年金制度の説明を行った後、座談会形式で年金をテーマに学生と職員が意見交換
- ・開催後、厚生労働省ホームページや大学・市町村の広報誌等で様子を公表

対面やオンラインで実施



■ 開催期間

- ・令和5年4月3日（月）～令和6年3月29日（金）

■ 令和5年度上半期開催実績（のべ18校）

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ○ 4月20日 北海道大学（対面） | ○ 6月15日 九州大学（対面） |
| ○ 4月26日 武蔵大学（対面） | ○ 6月23日 相模女子大学大学（対面） |
| ○ 5月12日 立教大学（対面） | ○ 6月27日 日本女子大学（対面） |
| ○ 5月19日 関西学院大学（対面） | ○ 7月6日 北海道大学公共政策大学院（対面） |
| ○ 5月23日 一橋大学（対面） | ○ 7月10日 北海道教育大学（対面） |
| ○ 5月26日 東海大学（オンライン） | ○ 7月20日 お茶の水女子大学（対面） |
| ○ 6月1日 盛岡大学（対面） | ○ 7月21日 帝京大学（対面） |
| ○ 6月6日 名古屋大学（対面） | ○ 7月27日 名古屋市立大学（オンライン） |
| ○ 6月9日 お茶の水女子大学（対面） | |
| ○ 6月12日 熊本大学（オンライン） | |

⇒下半期についても多数の大学と調整中。

「学生との年金対話集会」年金とキャリアに関する教育のパイロット授業

令和5年度上半期の「学生との年金対話集会」事業において、パイロット授業として、外部講師を招き、公的年金・私的年金について、講義いただきました。

■ 実施概要

①日本女子大学での開催事例

日時：6月27日13:20-15:00
外部講師：岩城みづほ氏

「人生100年時代。自分のライフプランに合わせた資産形成を」と題し、平均寿命が男性よりも長い女性がライフ・キャリア・マネープランをどのように考えれば良いかや、資産形成のポイントなどを講義いただきました。



②帝京大学での開催事例

日時：7月21日14:45-16:15
外部講師：横川楓氏

「社会人になる前に知っておきたいお金の話」をテーマに、就職の際に知っておきたい給与の仕組みや、キャリア選択の際に注意しておきたいポイントなど、大学生のうちからできるお金との向き合い方について、わかりやすく講義いただきました。

■ 学生アンケート（抜粋）

- ・普通なら就職後にされるお話を、大学生の今のうちから聞けたことはとても貴重だったなと思います。
- ・老後のお金はあまり自由度がないと感じていたが、自分で選べることがたくさんあることを知ることができた。
- ・いつライフィベントでの出資があるか分からぬ中このように投資をどうしてお金を貯められることは良い事だなと思いました。
- ・今回の対話集会を終えて、公的年金をもとに私的年金を考えていくという発想は私には思いつかなかつたため新たな発見だった。
- ・対話集会を通して、退職金についてそんなに多くもらえると知らなかつたため驚いた。
- ・自分の人生について考え、いつどのくらいのお金が必要か踏まえた上で生活を送っていきたいと思った。

中高生向け教育教材について

令和5年度中に、中・高等学校における家庭科、総合学習におけるライフプランと年金に関する新機軸の教育教材の開発を予定しています。

■ 内容

中・高等学校の授業で使用する教材・教員用台本等の製作、授業実施のための教材配信、教員への周知、授業後アンケートの実施等

■ 概要

内閣府が平成30年11月に実施した、「老後の生活設計と公的年金に関する世論調査」によれば、「公的年金制度の内容について、多くの方に理解してもらうためには、どのようなことが必要か」という質問に対し、45.7%の方が「学校における年金に関する授業の充実」と回答があった旨報告がなされた。

また、高等学校学習指導要領家庭編第4節「生活消費」によれば、「雇用や経済の変化が激しい社会、高齢化、ライフスタイルの多様化などにより、生涯を見通した長期的な経済計画の必要性が高まっていること、生涯を見通した経済計画を立てるには、事故や病気、失業、定年後の年金生活などを想定し、それらのリスクへの対応策が必要であることについて扱う。さらに、生涯賃金、収入の確保と支出、資金の運用と管理などの視点から長期的な金銭管理が必要であることを認識し、適切な家計管理ができるよう指導する。その際、税金、社会保障を含む社会保障制度とも関連付けて扱う。」とされているところ、学校教育において、ライフプランと年金制度を的確に学ぶためのコンテンツの提供が求められている。

これらの状況を踏まえ、中高生をはじめとする学生がライフプランと年金制度を学ぶため、当省がこれまで制作した年金クイズ動画を編集しWebページに埋め込んだ、年金教育特設サイトを制作し、学生用のワークシート、教師用の授業台本の製作を行うものとする。

「こども霞ヶ関見学デー」開催報告

夏休み恒例のイベント「こども霞ヶ関見学デー」でのプログラムのひとつとして、「リアルクイズノック塾！伊沢拓司さんと考える私の将来とキャリアプランと年金」と題し、多くの子供たちと年金について楽しく学ぶイベントを開催しました。

■ 概要

日時：8月2日（水）10:30～12:00

ゲスト：伊沢拓司氏（QuizKnock）

対象：3歳以上の未就学児、小学生、中学生、および保護者

参加数：対面・保護者を含めて約100名、オンライン・約40名

会場：AP虎ノ門
東京都港区西新橋1-6-15NS虎ノ門ビル

